

埼玉県立久喜図書館  
2025年12月

# 映画会

入場無料

埼玉県マスコット  
「コバトン」



場所

1階視聴覚ホール

時間

開場: 13:30 上映: 14:00~

定員

140名(当日先着順)

12月5日(金) 金曜映画会



『こころの通訳者たち

『What a Wonderful World』 (教養・カラー・94分)

12月12日(金) 名作映画鑑賞会



『わたしはダフネ』

(劇映画・カラー・94分)

12月18日(木) 郷土に親しむ映画会

『昔、陶工の里ありき さきたまの丘から』

(教養・カラー・20分)

『復活した飯能焼 さきたまの丘から』

(教養・カラー・20分)

12月26日(金) 冬休み映画会

『ざんねんないきもの事典 2』 (教養・アニメ・50分)



このマークがある作品は、  
日本語字幕付きで上映します。

# | 上映作品情報 |



このマークがある作品は、  
日本語字幕付きで上映します。

12月5日(金) 14:00~ 金曜映画会

『こころの通訳者たち

**What a Wonderful World』**

(教養・カラー・94分)



目や耳に障がいのある人や小さな子どもまで、誰もが楽しめる映画を上映するユニバーサルシアター「シネマ・チュプキ・タバタ」へ、舞台の音を手話で届ける「舞台手話通訳者」のドキュメンタリーに音声ガイドをつけたいという相談がやってきます。目の見えない人に対し、手話をどのように伝えるのか、様々な人の言葉を繋ぐ挑戦の日々を紹介します。

[2021年](埼玉県立熊谷図書館所蔵DVD)

12月12日(金) 14:00~ 名作映画鑑賞会

『わたしはダフネ』

(劇映画・カラー・94分)



明るく社交的なダフネは、ダウン症の女性です。両親と穏やかな生活を送っていましたが、ある日、母マリアが亡くなってしまいます。突然の死に混乱する父ルイジは、もし自分に何かあれば娘がどうなってしまうのか、不安で意気消沈してしまいます。そんな父の姿を見たダフネは、母の故郷を目指す旅に連れ出します。お互いを理解し支え合う家族の物語です。

フェデリコ・ボンディ／監督・脚本

カロリーナ・ラスパンティ、アントニオ・ピオヴァネッリ／[ほか]出演

[2019年](埼玉県立久喜図書館所蔵DVD)

# | 上映作品情報 |

## 12月18日(木) 14:00~郷土に親しむ映画会

『昔、陶工の里ありき さきたまの丘から』(教養・カラー・20分)  
鳩山町には、奈良時代の土器や屋根瓦が出土した遺跡があります。そこはまるで工業団地のような陶工たちの里でした。古代の陶芸文化について紹介します。

[1985年](埼玉県立熊谷図書館所蔵 16ミリフィルム)

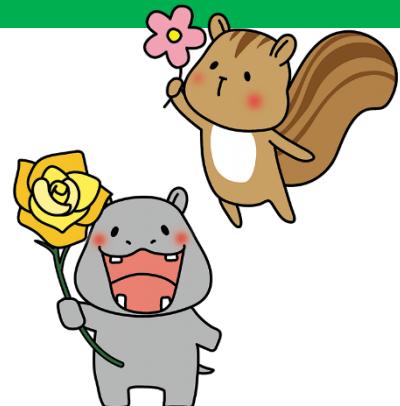
『復活した飯能焼 さきたまの丘から』(教養・カラー・20分)  
幕末から明治まで製造されていたとされる「飯能焼」。技術の伝承が途絶えた陶器を復活させたのは、岐阜県から移住した一人の陶工でした。

[1985年](埼玉県立熊谷図書館所蔵 16ミリフィルム)

## 12月26日(金) 14:00~冬休み映画会

### 『ざんねんないきもの事典 2』

(アニメ・カラー・50分)



さまざまな動物たちの「ざんねんな」特徴を集めた事典です。進化の過程で手に入れた、多様で不思議な習性を紹介します。普段目にする姿とは違う、ちょっと変わった動物たちの生態を学びます。

青木純／監督 玄田哲章、日高のり子／[ほか]声の出演



[2018年](埼玉県立久喜図書館所蔵 DVD)

## | 来月の上映予定 |

### 1月9日(金) | 郷土に親しむ映画会

え ど かぐら げんりゅう わしのみや おか  
「江戸神楽の源流 鶩宮 さきたまの丘から」(20分)

こ が くぼうやかたあと く き かんとういん おか  
「古河公方館跡 久喜・甘棠院 さきたまの丘から」(20分)

### 1月16日(金) | 金曜映画会

ねが  
「ぼけますから、よろしくお願ひします。  
おかえりお母さん」(101分)

### 1月22日(木) | 名作映画鑑賞会

じんせい  
「人生、いろどり」(112分)

### 1月30日(金) | 金曜映画会

しごと りゅうぎ  
「プロフェッショナル仕事の流儀[129]

しんかい か かん だいぼうけん  
「深海へ！9日間の大冒険」(49分)



このマークがある作品は、  
日本語字幕付きで上映します。



« 映画会のお問い合わせ »  
**埼玉県立久喜図書館**  
電話 0480-21-2659(代表)